



一般社団法人日中化粧品国際交流協会 Japan-China Cosmetic Exchange Association

〒650-0045 兵庫県神戸市中央区港島南町 5-5-2 神戸国際ビジネスセンター TEL : 81-78-381-5304 FAX : 81-78-303-3077

<http://www.cosmo-jc.org>

2017年11月8日、2018年中国美容博覧会の事前説明会が東京、グランドプリンスホテル新高輪にて開催された。中国美容博覧会は世界最大な美容関連の展示会であり、毎年上海にて開催されている。昨年は全世界の34ヶ国または地域からの企業が出展し、3日間で約40万人の来場を記録した。中国美容博覧会では毎年一つの主賓国を決め、来年は「ジャパンイヤー」と決定されたため、今回は初めて日本において事前説明会を開いた。説明会当日には、100名の参加者枠を遥かにオーバーした160名が参加した。

事前説明会はまず今回の説明会の主催側である株式会社ポリスターの代表取締役社長畑穰氏による挨拶から幕が上がった。次には中国美容博覧会(以下「CBE」)の主催者の桑敬民氏が挨拶し、中国市場と日本化粧品に対する考え方を述べた。桑氏が言うには中国の消費市場の高速発展によって、高品質で知られる日本化粧品が注目されるようになり、Koalaのデータによると、中国女性が購入する化粧品の中で日本製のものが62%占めるという。中国化粧品の市場規模は莫大で、そして高品質な日本製品の中国市場への進出には大きなアドバンテージがあり、そのビジネスチャンスは無限であるという。本日の来賓の一人であるビーズアップの家寿田めぐみ編集長は展示会を通して中国女性の消費意欲が大変大きいと感じたことを述べた。その次に講演したのはCBEの副総経理である桑蚩女史で、CBEの展示会は化粧品・美容品に関わるあらゆる分野の企業からの出展があり、そして展示のみならず大小のセミナーが約50個会期中に開催されるとCBEの詳細を紹介し、日本企業の出展を促した。元資生堂投資有限公司の鎌田正志氏は中国化粧品市場の成長が著しく、リアル店舗の発展も目覚ましいことを述べ、CBEへ出展するメリットを語った。弊会の楊理事長も「日本の技術力と中国市場の接点」をテーマに講演した。講演では、IFSCCで最も多く賞を獲得している日本の技術力と成長が右肩上がりである中国市場は補完し合う関係であり、日本の技術力で中国市場へ進出する道を切り開くべきだと呼びかけた。

この説明会を通して中国の化粧品市場が巨大であることと、日本企業こそが最もその市場へ進出するべきであると参加者たちは理解を深めることができた。確かに中国においてビジネスを営むには様々な障壁が立ちだかっているが、これらの障壁を乗り越える方法は模索すれば見つかるのである。そうしてこの障壁を乗り越えて中国でのビジネスチャンスを掴んだ暁には、企業の更なる目覚ましい発展を遂げることは間違いないだろう。重要なのは一歩踏み出すことであり、静観することこそ失敗である。

2018年5月22日～5月24日、中国美容博覧会(CBE)が上海にて開催される。私たち協会は半日のスケジュールで、日本の技術力を来場者に講演することを依頼された。CBEは中国で最も影響力のある展示会と言っても過言ではないので、中国ビジネスを将来予定しているのであれば、是非会場に来るべきである。



会場



楊建中理事長